



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。☎秘書政策課 ☎ 36-7117

今月のテーマ「地方創生総合戦略って何なの」について

「地方創生総合戦略って結局は何なの？」と尋ねられることがあります。端的に言えば、地方に仕事を創り、東京に集まりすぎた人口を地方に戻し、子どもを増やして、地方に元気を取り戻すための政策です。

島田市と同じく、今、地方では少子化と人口流出が続いています。全国から若者が集まっていく東京圏、特に東京都の合計特殊出生率（1人の女性が一生に産む子どもの数）は1.13人(H25)と極めて低く、地方は疲弊し、このまま人口減少が進めば日本という国が立ちゆかなくなる、というデータをもとにこの地方創生の議論はスタートしています。

政府は、2060年に日本の人口を1億人程度に維持する目標を立て「①地方に仕事をつくり安心して働けるようになる ②地方への新しい人の流れをつくる ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える ④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域とが連携する政策を進める」ことに決めました。全国各地で、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立して、「まち」に活力を取り戻す戦略を実行する、これが「地方創生」です。



大赤字が続いている国の財政状況を考える

と、今後の地方への財政支援は全国一律に面倒を見る時代から「頑張る自治体とそうでない自治体は区別しますよ」という地域間競争の時代へと移っていきます。

島田市においても、平成27年度に総合戦略を策定し「地域に根づいた産業の育成、雇用創出、人口減少の歯止め」のプランを作成します。先行型として本年度は移住・定住相談会や結婚支援事業、子育て応援ポータルサイト立上げ、企業内子育て環境アップ交付金、市内業者の販路開拓支援、外国人観光客向け情報発信ネットワーク化(Wi-Fi)、観光特産品開発支援などを実施してまいります。また、地域消費喚起・生活支援として6月を目標に、1万円〜1万2,000円分のお買い物ができる「プレミアム金券」を約4万7,000冊販売する予定です。



プレミアム金券(サンプル)

これまでに継承されてきた産業・文化がしっかりと次世代につながり、故郷を守り、市民がいきいきと住み続けられる島田を創らねばなりません。この重責を感じながら平成27年度も責務を果たせるように頑張ってまいります。

※地方創生に向けた先行事業の詳細については、市ホームページでご覧になれます。

みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

六合中学校の敷地外周の水路には、風雨によりグラウンドの土や街路樹の葉などが流れ込み、土砂が堆積してしまいます。水路に水が流れにくくなると、地域の環境美化に大きな負担をかけることから、六合中学校の平成26年度3年生が、川ざらい作業を行ってくれました。これは、お世話になった学校と地域への感謝から始まった、六中生が学び舎から羽ばたく前の恒例行事です。

今年は3月10日に、卒業を目前にした生徒122人が、

強風と時より降る雨の中、スコップを手に同校目標の「人にやさしく、自らをのぼす生徒」を実践。泥だらけになりながら、奉仕作業に取り組んでくれました。

子どもたちには、地域と人を大切にする想いを、いつまでも忘れないでほしいと願っています。(道悦島自治会)

